

● 内政

1 **ザンビア大学構内での転落事故を受け、学生らが抗議**

3月31日夜、ザンビア大学の学生1名が大学構内の下水道工事で開けられた穴に転落し死亡した。4月1日にはこの事故に対してザンビア大学生らによる抗議活動が行われ、キャンパス内から主要道路にも拡大、警察が鎮圧した。ヒチレマ大統領は本死亡事故に対し哀悼の意を表明した。（4月1日付 News Diggers）

2 **ザンビア大学の衛生対策に政府が2300万クワチャを拠出**

マンブウェ教育省事務次官は、ヒチレマ大統領の指示によりザンビア大学の衛生問題に対処するため、300万クワチャを拠出し、キャンパス周辺への仮設トイレの追加設置や給水車の派遣を行うと述べた。（4月2日付 News Diggers）

3 **政府がトウモロコシの輸出禁止措置を解除**

農業省は小規模農家の所得向上及び農業分野における経済活動の刺激を目的に、トウモロコシ及びトウモロコシ製品の輸出制限を解除したと発表した。（4月9日付 News Diggers）

4 **大統領、UPNDの次期大統領選候補に選出**

与党国家開発統一党（UPND）は、現職のヒチレマ大統領を8月に実施予定の大統領選候補に無投票で選出したと発表した。（4月13日付 News Diggers）

5 **3か月間で交通事故により681人死亡**

ザンビア警察は2026年第1四半期（1月1日から3月31日まで）に全国で9,772件の交通事故が発生し、681人が死亡したと発表した。前年同時期の交通事故件数は8,809件、死亡者数は498人であり、いずれも増加している。

（4月16日付 News Diggers）

● 外交・対外関係

1 **外相、トルコを訪問**

ハインベ外務・国際協力大臣は4月16日よりトルコを訪問し、アンタルヤ外交フォーラムに参加した。講演の中でハインベ外相は、ザンビアの再生可能エネルギー、輸送回廊、地域連携への投資を強調するとともに、アフリカでの工業化を推進し原材料輸出から付加価値創造へと移行する必要性を強調した。（外務・国際協力省プレスリリース）

2 **大統領、エスワティニを訪問**

ヒチレマ大統領はエスワティニ国王ムスワティ3世の即位40周年及び58歳の誕生日を祝賀する行事に参列するため、4月26日に同国を訪問した。（外務・国際協力省プレスリリース）

3 **駐ザンビア米大使、召還命令を受け離任**

マイケル・ゴンザレス駐ザンビア米国大使の離任レセプションを4月30日に開催予定であると大使館広報担当が認めた。同大使は米国から支援された医薬品を政府高官が横領していると批判、支援の縮小を行ってきた。これに対しザンビア政府は約1年前より大使の召還を求める書簡を米国政府に送っていた。（4月29日付 News Diggers）

4 **茂木外相、ザンビアを訪問しハインベ外相と会談**

4月30日、茂木外相はザンビアを訪問し、ハインベ外相と会談した。重要鉱物分野を含む経済協力の強化について合意した。（外務・国際協力省プレスリリース）

（了）